

令和4年度白山市子ども会議 質問・答弁要旨

議長：笠間中学校 高辻康時（前半）、光野中学校 大辺陽莉（後半）

発言順	1
質問者	光野中学校 大辺陽莉
質問事項	学校で給食を作ることについて
質問内容	私たちの学校の給食は、おかずが冷めていることが多く、せっかくの給食のありがたさが失われてしまうので、学校で給食の一部を作ることを提案します。さらに給食をよりおいしく、親しみを持つことができるように、生徒にアンケートをとり、いろいろなものを食べる機会を増やしてはどうでしょうか。また、職場体験として生徒が給食の献立を考えたり、献立コンテストを実施したりするなど、生徒が給食に関心を持ち給食が楽しい時間になるような取り組みを検討してはどうでしょうか。
答弁者	松任中学校 吉川 陽香里
答弁要旨	家庭の負担を少なくするために学校給食が始まりました。白山市では自校給食を進めています。集中方式での学校では給食室を作るところから検討する必要があります。また、給食室での職場体験は衛生管理の面で実施は難しいが、生徒たちで献立を考えることは、栄養士や調理員など給食を作ってくれる方への感謝の気持ちを感じることができ、また、食への興味を持つことができると思います。 (担当課：学校教育課)

発言順	2
質問者	鳥越中学校 中川遥仁郎
質問事項	白山市の人口問題について
質問内容	白山市では、現在、市外から若年世帯に定住してもらうために、定住促進支援制度や空き家バンク制度による空き家を活用する取り組みなどを行っていますが、人口減少を抑えるためには多彩な取り組みが必要だと考えます。そこで、白山市に住みながら石川県内の大学に通っている大学生に対して家賃を補助したり、空き家を提供したりしてはどうでしょうか。大学生の間から白山市での住み心地を実感してもらい、就職後も白山市に住み続けてもらう流れができると考えます。

答弁者	笠間中学校 牛木明希菜
答弁要旨	白山ろく地域で市が空き家を借り上げ、石川県内の大学に通っている大学生に住んでもらい、住み心地などを積極的に発信してもらうことはひとつの方法ですので検討したいです。また、白山市に戻り、白山市で働いてもらうことも大切ですので、地元企業と共に奨学金の返還を支援することも検討していきます。若いうちから白山市に住み、その後の結婚や子育てを応援していくことで、白山市での生活に魅力が生まれ、住みたいまちになっていくと考えます。(担当課：定住支援課)

発言順	3
質問者	松任中学校 小出仙 妃央
質問事項	安全な通学路について
質問内容	通学路点検については、各学校の PTA からの要望を受けて、年 1 回行っていただいています。通学路に関する要望に、実際に通学路を通る中学生にしか気づけない視点を取り入れることはできないでしょうか。学校で年 2 回、生徒に通学路に関するアンケートをとり、生徒の要望として学校から市に直接要望することを提案します。
答弁者	北星中学校 成田 晴太郎
答弁要旨	生徒の要望として学校から市に直接要望するという提案は、生徒の視点を生かしていくためにも良い取り組みになると考えます。さらに、生徒の要望を PTA からの要望時期と合わせることで、これまで行っている安全点検にも反映させることができます。また、季節に応じた点検は危険箇所がよりわかりやすくなるため、その後の対応にも役立つと考えます。(担当課：学校教育課)

発言順	4
質問者	北辰中学校 都原 楓乃音
質問事項	ごみの削減について
質問内容	ごみの量を減らすために 3R を徹底的に行うことを提案します。家庭での生ごみの減量化の取り組みとして、家庭用生ごみ処理機やコンポストの積極的に利用することは重要です。市では、生ごみ処理機の無料貸し出しや助成金を出すなどの取り組みを行っていますが、今後、今まで以上に宣伝していく予定はありますか。

答弁者	鶴来中学校 山崎 紫苑
答弁要旨	<p>3Rを徹底的に行うことはとても重要であり推進していかなければならないと考えています。市では、いらなくなったものを必要な人に渡すテレホンリサイクルの取り組みや雑がみの収集についてもお知らせしています。</p> <p>また、生ごみ処理機の利用を勧めており、家庭用生ごみ処理機で減量した生ごみを回収するお店に持ち込むとポイントが貯まる取り組みも行っています。ホームページなどでもお知らせしていますので、ぜひ活用してほしいと思います。(担当課：環境課)</p>

発言順	5
質問者	白嶺中学校 南 柚希
質問事項	自然の楽しみ方について
質問内容	<p>まちなかに住む人たちは自然に関わる機会が少ないので、身近に楽しむことができる自然があることをもっと知ってほしいと思っています。白山登山やスキーはもちろんですが、これまであまり触れられてきていない自然についても、その豊かさを知ってもらうために、自然の中での活動の写真を撮り、SNSなどで広めることができるのでしょうか。</p>
答弁者	鳥越中学校 林 慶次郎
答弁要旨	<p>白山市の自然の豊かさをまちなかの人に知ってもらうために、白山手取川ジオパークを通じた学習を進めていきたいと考えています。自然の中で活動する写真をSNSで発信して紹介することは、多くの人に関心を持つことができるため、良い考えだと思います。地元の人たちがインフルエンサーになって、豊かな自然の魅力を発信してほしいと考えます。(担当課：ジオパーク・エコパーク推進課)</p>

発言順	6
質問者	鶴来中学校 高辻 康時
質問事項	中学生と高齢者との関わりについて
質問内容	中学生と高齢者との交流は、私たち中学生にとって知らないことを学ぶ機会になり、高齢者にとっても孤立を防ぐ機会になると考えます。そこで、総合学習の時間を利用して、老人ホームなどを訪ねて高齢者との交流の機会を持つことができないか提案します。また、地域の高齢者に学校に来てもらい、花壇のお世話や野菜作りを手伝ってもらう機会を持つことも交流の機会の一つになると思います。
答弁者	美川中学校 坂本 新夏
答弁要旨	高齢者と交流する機会として、公民館では世代間交流事業という形で取り組みが進んでいます。このような活動にも中学生が積極的に参加することも必要だと考えます。しかし、中学生が参加できるような行事はまだ少なく、高齢者と交流する機会を増やすことが必要です。学校でも高齢者と交流できる時間が増えるように工夫していきたいと考えています。また、それぞれの家庭で事情は異なると思いますが、祖父母と楽しく過ごす時間も多く持つことも大事なことでと考えます。(担当課：長寿介護課、生涯学習課)

発言順	7
質問者	北星中学校 長田 佳子
質問事項	校則について
質問内容	校則にはどうしてあるのかわからないものが多く、また生徒の意見が通りにくいという現状があるので、校則に生徒の意見をもっと反映されるようにしたいと考えています。そのために、生徒が校則について理解を深め、意見を持つ機会をつくること、学校は生徒の意見を積極的に取り入れていくようにすることを提案します。
答弁者	光野中学校 南 菜月葵
答弁要旨	生徒が校則について考える機会を設けることを進めたいと考えています。生徒が校則に対して無関心であることや、考えを発言しても聞いてもらえないのではないかと諦めている現状があるので、まずは意見を言いやすい雰囲気をつくることから始める必要があります。安全で楽しい学校生活を送るために、生徒が自分で考えることや判断する力を養うことも大切です。(担当課：学校指導課)

発言順	8
質問者	美川中学校 山田 留生
質問事項	地域の危険な場所の改善について
質問内容	地域の危険な場所の改善には、町内会で要望を集めて市役所や警察署へ提出し、関係機関での立ち会い調査や優先順位の決定などの手順を踏まなければならないため、時間がかかってしまいます。また、町内会で話し合うときに子どもの意見が取り入れられなかったりします。そこで、危険箇所に関する調査を子どもを含む家族全員で取り組み、その報告を市のホームページに写真で送るようにしてはどうでしょうか。
答弁者	北辰中学校 畑 日丸
答弁要旨	<p>現在、交通規制に関する要望書は年間 50 件近く提出されています。もし HP から気軽に書き込めるようにしてしまうと、何でも書ける意見箱のようになってしまい、むしろ対応が遅れることになると考えます。</p> <p>町内会で意見を募集する際は、子どもも意見を言いやすい環境を整え、地域住民が危険箇所の情報を共有することが大切だと考えます。(担当課：地域安全課)</p>

発言順	9
質問者	笠間中学校 細川 仁汰
質問事項	学校に行きづらい人への支援について
質問内容	私たちは、学校に行きづらい人が学校に来られるようにしたいと考えています。学校に行きづらい人への支援として、学校に生きづらい人同士の居場所があることを知らせたり、授業や部活動の見学、生徒会による楽しいイベントを企画したりすることを提案します。
答弁者	白嶺中学校 織田 千晴
答弁要旨	学校に生きづらい人の居場所を通じて最終的に学校に通えるようにすることも方法の一つとして良いと思いますが、学校に行かずに学び続けるという選択肢もあると思います。学校に行きづらい理由は様々です。その人その人に見合った支援の方法を探し、実行するほうが悩みは解消されると考えます。(担当課：学校指導課)